



片岡鶴太郎展

信濃の四季

<四季帖> 春夏秋冬(一部)

2017年4月2日(日)ー5月21日(日)

開館時間：午前9時～午後5時 <最終入館は午後4時30分まで>
※4月2日はオープニング式典のため午前10時開館

休館日：会期中無休

入館料：一般800円(700円)、小中学生250円(150円)

※()内は割引料金

[関連イベント] ※展覧会入場券が必要です

片岡鶴太郎サイン会

5月5日(金・祝) ①午前11時～/②午後14時～

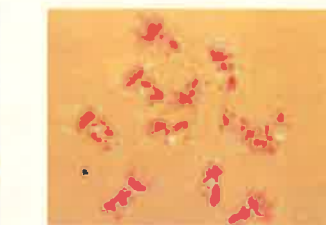
※当日会場内で販売しております画集をお買い上げの方、
各回先着150名様にサイン会整理券を配布いたします。
※整理券はお一人様1枚限りとさせていただきます。
※都合によりスケジュールが変更になる場合がございます。

唐木さち花入れ

5月4日(木・祝)・5月5日(金・祝)・5月6日(土)

主催 伊那市、伊那市教育委員会、信州高遠美術館
企画制作 オキノマネージメントコーポレーション
協力 太田プロダクション、草津片岡鶴太郎美術館
後援 長野県、信濃毎日新聞社、中日新聞社、読売新聞長野支局、朝日新聞長野支局、毎日新聞長野支局、日本経済新聞社長野支局、産経新聞社長野支局、時事通信社長野支局、共同通信社長野支局、信州・市民新聞グループ(7紙)、アド・コマースリアルアド・プランニング、(公財)信毎文化事業財団、(公財)八十二文化財団、SBC信越放送、NBS長野放送、TSB テレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、長野日報社、伊那ケーブルテレビジョン、伊那市有線放送農業協同組合、伊那美術協会、信州美術会伊那支部、伊那市民美術会、伊那市観光協会

信州高遠美術館



《金魚十一尾》



《松茸と栗》



《金時七福》

《四季軸》春夏秋冬



《夜桜》



《雪桜》着物三連

片岡鶴太郎氏は、高校卒業後、片岡鶴八氏に弟子入りし、3年後、東宝名人会、浅草演芸場に出演しました。その後、バラエティー番組を足掛かりに広く大衆の人気者となりました。目下、幅広いキャラクターを演じられる役者として活躍し、日本アカデミー賞最優秀助演男優賞など数多くの賞を受賞しました。

画家としては、1995年に初の絵画展「とんぼのように」を東京で開催し、以降、毎年新しい作品での個展を開催しています。2001年には初の海外個展をフランス・パリにて開催し、好評を博しました。2011年、初の本格的仏画を出展、2013年、第69代横綱白鵬の化粧まわしのデザインを担当し、伊勢神宮で奉納・お披露目がおこなわれました。書の分野では、2015年3月、書の芥川賞といわれる「第10回手島右卿賞」、同7月「第32回産経国際書展功労賞」を受賞しました。そして2016年4月より、羽田空港国内線第1旅客ターミナルにて、放送作家・小山薫堂氏とのコラボレーション作品11点を広告掲出しています。画業を積み重ね、その心に奏でられた色彩は多くの人々を魅了しています。

伊那市では2012年10月に、芸術文化大使を委嘱しています。また、2008年に唐木さち氏の写真集『野の花をいける』を見て、その斬新な感覚と野の花とともに生きる唐木さち氏の姿に感動し、交流を深めています。

唐木さち氏は、茶の湯の花を独自の感性で創り上げてきました。信州の野の花の美しさに魅せられて、背景や花器との出逢いを考え、花の息づかひまでもやさしく表現しています。自宅やNHK文化センターなどで教えるとともに、各地で個展を開き、他の芸術家とのコラボレーションを精力的に行っています。

今回、片岡鶴太郎氏の作品展とともに、展覧会特別企画として、唐木さち氏の花入れを楽しんでいただきます。

片岡鶴太郎展グッズ販売

片岡鶴太郎氏のアートグッズ、版画などの販売を、玄関ホールミュージアムショップにておこないます。5月5日に開催の鶴太郎氏サイン会でお使いいただく画集はこちらでお買い求めください。

同時開催 市民ギャラリー展示

片岡鶴太郎ポートレート展

信州高遠美術館 TEL 0265-94-3666 FAX 0265-94-3936 E-mail: t-bjk@inacity.jp

○さくら祭りの会期中は、美術館周辺の駐車場は有料です。
○また混雑時、普通車は高遠城跡公園方面及び、美術館周辺へ入ることができませんのでご注意ください。



【中央自動車道】— 伊那I.C.から国道361号を經由30分。 諏訪I.C.から国道152号を經由50分。
【JR飯田線】— 伊那市駅・伊那北駅から高遠線JRバス25分で高遠駅。高遠駅から徒歩25分。